

「淀の河津桜と石清水八幡宮を訪ねて」活動報告書

担当 6 班

実施日：2023年3月10日（金） 天候：曇り後晴れ 参加者数：73人

集合場所：京阪 淀駅前広場 集合時間：10:00分 解散：石清水八幡宮鳥居前 15:30分

行程：京阪 淀駅⇒河津桜水路見学（一次解散）再集合後⇒宇治川河川敷歩きさくらであい館・

（昼食・集合写真撮影・班長会）⇒これより、石清水八幡宮参拝までの工程は、ケーブル組と徒歩組の2班に分かれ進行致しました。

ケーブル組⇒八幡宮駅⇒山頂駅⇒御社殿参拝⇒エジソン碑見学後（徒歩組待ちを致し石翠亭付近で待機）

徒歩組⇒表参道より⇒御社殿（参拝）⇒エジソン碑見学後・ケーブル組と石翠亭付近合流⇒裏参道を下山⇒石清水八幡宮鳥居前に着後解散（帰路・京阪石清水八幡宮駅まで6班員誘導）

- ♥・河津桜は、昭和30年（1955年）に静岡県賀茂郡河津町で原木が発見された新種の桜で、昭和41年に初めて開花、昭和49年にカワズザクラ（河津桜）と命名されました。早咲きの「大島桜」と「寒緋桜」の自然交配種と推定されて居ります。今年は春先から暖かな日が続き、見事な満開の花を見る事が出来ました。
- ♥・初春の三川合流付近の宇治川河川敷を、野草の芽吹きを見ながら楽しく、さくらであい館に向けての行進で皆様の歩きも軽やかそうでした。（三川とは、桂川、木津川、宇治川が合流して淀川と成ります）
- ♥・さくらであい館の展望台の上からは、三川合流地が見え、名所は堤のソメイヨシノさくら並木で「背割りさくら」と呼ばれて居りますが、ちょっと今は時期が早く満開時には、素晴らしい眺めかと想像致しました。
- ♥・石清水八幡宮は、翌貞観二年（八六〇）、朝廷の命により八幡造の社殿（六宇の宝殿）が造営され御還座されました。今回は、当宮の宮司様のご案内の下で、由緒有る国宝の一部をご拝観する事が出来ました。
- ♥・八幡宮境内のエジソン碑は、トーマス・アルバ・エジソンの電球発明から50周年を記念して、1934年に建立されました。発光体のフィラメントに八幡市の竹（マダケ）が使用されたことによるものです。



河津桜と目白



御幸橋（ごかうばし）・前方は男山



さくらであい館



石清水八幡宮鳥居



石清水八幡宮本殿



エジソン碑

所感：本日は、夜来からの雨予報も外れ、集合時間時には曇り空でしたが、午後には晴れ一足早く満開の河津桜見物が出来ました。

石清水八幡宮・御社殿参拝には、先行のケーブル組36名、徒歩組36名と丁度2グループに分かれ（お1人参拝無し）、宮司様ご案内のもと、熱心にご説明を受け皆様の納得致した様子が伺え見られ安堵致しました。全行程（約8Km）を皆様のご注意とご協力により、無事に終了出来た事を、深く感謝致したく思っています。